



四 気 折 々

川越町立川越中学校
学校だより 第36号
平成29年2月23日

四気＝川越中学校訓「やる気 ほん気 こん気 げん気」

お世話になります

【ボランティア3名の方が加わった授業の様子】

川越町教育委員会のご支援を受け、第1学年数学科の各学級の授業において、生徒のさらなる理解促進のため、今月中旬より週1回程度ではありますが、学習ボランティアとして地域の方々にご協力・ご参加をお願いすることとなりました。



授業には2,3人のボランティアの方に参加していたため、多くの生徒たちは、スムーズに質問することが可能となりました。しかし、わからないことを恥ずかしいことと思い、思い切って尋ねることができない生徒がいるのも事実です。

はるか昔に、ギリシアの哲学(※1)者ソクラテスは、知らないことを知っていると考えよりも、知らないことは知らないと考えるほうが優れている(「無知の知」)と言っています(ウィキペディアフリー百科事典より)。数学の授業に限らず、わからないことはわからないとはっきり伝えることができ、どの授業でも学ぶことの楽しさを身に付けてほしいと先生たちは願っています。

※1 世界・人生などの根本原理を追求する学問(g o o辞書より)

お世話になりました

22日(水)午後、第3学年が中学校3年間に対する感謝の気持ちを持って、奉仕作業に取り組みました。

奉仕作業で取り組んだ場所は、3年1組～4組の各教室、理科室、美術室、音楽室、体育館などでした。それぞれの場所を訪れ、このたよりに掲載する写真を撮影しました。撮影した写真には、普段から熱心に取り組む清掃活動の様子に加え、これまでの3年間を振り返り、学年の先生方やクラスメートと心で語らう、和気あいあいとした様子が表れていました。

川越中学校の先生を代表して、校長である私から3年生のみなさんにお礼を言わせてください。奉仕作業できれいにしてもらい、ありがとうございました。

【奉仕作業の様子】

